

患者さんパンフレット

四国がんセンター
消化器科



私たち医療スタッフは

- I 入院や抗がん剤治療に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いします

- II 抗がん剤治療の副作用や苦痛を軽減し、安全に治療を続けることができるようにお手伝いします



5-FU+シスプラチン療法を 受けられる方へ

さま

主治医

受け持ち看護師

2009年8月1日 作成
2026年2月18日 改訂

5-FU+シスプラチン（FP）療法とは

FP療法は、5-FUとシスプラチンを併用する化学療法です
5日間、抗がん剤の点滴を持続して行います

治療日数	1	2	3	4	5	6~28	29日目以降
5-FU（点滴） 800mg/m ² 24時間	●	●	●	●	●		●
シスプラチン 80ml/m ² 2時間	●						● (次コース)

- 治療効果を高めるために、手術前や手術後に行う場合もあります
- この治療法では、抗がん剤特有の副作用が起きる可能性があります

- 抗がん剤を投与したときに、過敏反応が起こることがあります
過敏症状がでたら、早めに点滴を止めることが大切です
- 息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気など気分が悪いときは
我慢をしないで、すぐに医療スタッフにお知らせください



治療前の歯科受診について

- ◆ 治療時に起こる口のトラブルを予防し治療が円滑に進むように、治療開始前の歯科診察を行っています
- ◆ 治療前の歯科受診では、以下を行います
 - レントゲン検査・診察（口腔内の状態を診る）
 - 歯ブラシだけではとれない細菌の除去
 - 適切なセルフケア（歯磨き、うがい）指導
- ◆ 通常1~2回の受診で終わることができます

口の中はとても細菌の多い場所です
治療中や治療後にその細菌が悪影響を及ぼすことがあります
特に、治療後の口内炎・肺炎等を防ぐには治療前から口の中を
きれいにして細菌をできるだけ減らしておくことが有効です



入院中の生活の注意点

- ◆治療中は免疫力低下のため、感染リスクが高くなります
マスクの着用、手洗い・うがいをしましょう
入院中、手洗いの動画をテレビの無料チャンネルで視聴できます
- ◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりとりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まると薬が腎臓や膀胱を刺激し、炎症を起こしますので尿意を感じたら、我慢をしないでトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください
- ◆正しく安全に点滴を投与するために輸液ポンプを使用します
 - ・点滴が入っている部位を曲げたり、ねじったり、また、点滴チューブをひっぱったりしないようにしてください
 - ・歩行時は、点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は、支えにしないようにしましょう



こんなときは看護師にお知らせください

- * 輸液ポンプを使用しているときに機器のアラーム音が鳴ったとき
- * 点滴が入っている部位に違和感や痛みを感じたり、腫れてきたとき



- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます
尿や便に直接接触しても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- ・ **男性の方は飛び散り防止のため、座って排尿しましょう**



- ・尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう
2度拭き取ると良いでしょう

- ・トイレの後、フタがある場合は、**フタをして水を2回流しましょう**



- ・ナプキンや尿とりパッドを使用している場合は、看護師にお知らせください
 - * 使用済みのナプキンや尿とりパッドは、ナイロン袋に入れて口を結びましょう
 - * トイレからナースコールを押して、看護師に渡しましょう

- ・トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- ・尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は約10日間の予定です

抗がん剤治療の副作用は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます





今日の目標

- ・入院生活や治療について医療スタッフの説明が理解できる
- ・わからないことは質問することができる

<時間>

<予定>

11:00

入院

【入院後に以下のことを予定しています】
 ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明
 (テレビの病院案内も参考にしてください)

12:00

昼食
 歯磨き

・検温、血圧測定、身体測定
 ・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り
 ・歯科受診
 ・初回治療のときは、栄養士より病院食や食事の工夫について説明があります
 2回目以降、味覚障害や食欲不振等がある場合、栄養指導を希望される場合は、お知らせください

治療の流れや注意事項について説明します
 過敏症、点滴部位の痛み・血管痛について
 「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照

<お薬>

・他の病院で処方された薬は、一度お預かりします
 医師の指示を確認後、続けるか、中止するかをお伝えします

<食事>

・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください
 ・基礎疾患(糖尿病、高血圧等)がある方は、治療食になる場合があります

18:00

夕食
 歯磨き

<清潔>

・治療前日はシャワー浴をしましょう

21:30

消灯

<睡眠>

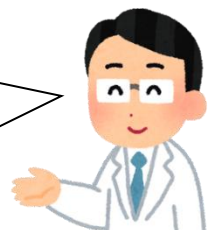
・眠れない場合は、安定剤を服用することができます



薬剤師から治療の流れや副作用の説明があります

医療スタッフの目標


- ・入院生活や抗がん剤治療に対する不安がないように支援します





今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる

<時間>	<予定>
6:00	起床 排尿を済ませてから 体重測定 を行きましょう (kg)
7:30	朝食、歯磨き 検温、血圧測定
	点滴中はトイレなどの歩行時に注意しましょう 点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります 点滴台は支えにしないようにしましょう
10:00	検温、血圧測定 10時から尿量測定を開始します 点滴を始めます ※抗がん剤の投与前、開始10分後、終了時には、血圧、脈拍を測定します
	<p>【点滴のスケジュール】</p> <p>①500mlの点滴 【1時間】</p> <p>②500mlの点滴 【1時間】</p> <p>★アプレピタント（吐き気止め） 1カプセル内服します</p> <p>③吐き気止めの点滴 【15分】</p> <p>④シスプラチン（抗がん剤） 【2時間】</p> <p>⑤利尿剤の点滴 【15分】</p> <p>⑥ソルデム3A+5-FU（抗がん剤） 【24時間】</p> <p>1) 抗がん剤の横から500mlの点滴 【2時間】</p> <p>2) 抗がん剤の横から500mlの点滴 【2時間】</p>
	体調に合わせて体を拭きます
12:00	昼食、歯磨き
14:00	検温、血圧測定
	
18:00	夕食、歯磨き 夕食後、 オランザピン錠 を2錠服用します
19:00	検温 血圧測定
	眠気が強く出ることがあるので、薬を飲む前にトイレに行きましょう また、夜ふらつときは看護師を呼びましょう
21:30	消灯

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- ・安全に抗がん剤治療を受けることができる
- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる

<時間>	<予定>
6:00	起床 排尿を済ませてから 体重測定 を行いましょう (kg)
7:30	朝食、歯磨き 検温、血圧測定 ★朝食後 アプレピタント1カプセル を服用します
10:00	検温、血圧測定 尿量の確認
	抗がん剤の横から点滴があります ソルデム3A1L+5-FU (抗がん剤) 【24時間】 1) 吐き気止めの点滴 【15分】 2) 500ml の点滴 【2時間】 3) 500ml の点滴 【2時間】
12:00	昼食、歯磨き
14:00	検温、血圧測定 体調に合わせて体を拭きます
	副作用と対策について説明します 吐き気・嘔吐、味覚障害・食欲不振、腎機能障害について 「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照
18:00	夕食、歯磨き 夕食後、 オランザピン錠 を2錠服用します
19:00	検温 血圧測定
21:30	消灯

しっかり水分を取りましょう
尿量が3000mlに足りない場合は、利尿剤の点滴をします

フタをして
水を2回流しましょう



眠気が強く出ることがあるので、薬を飲む前に
トイレに行きましょう
また、夜ふらつくときは看護師を呼びましょう

医療スタッフの目標
・副作用症状の早期発見に努めます
・抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる

<時間>	<予定>
6:00	起床 排尿を済ませてから 体重測定 を行いましょう (kg)
7:30	朝食、歯磨き ★朝食後 アプレピタント1カプセル を服用します
	しっかり水分を取りましよう 尿量が3000mlに足りない場合は利尿剤の点滴をします
10:00	検温、血圧測定 尿量の確認
	抗がん剤の横から点滴があります ソルテム3A1L+5-FU (抗がん剤) 【24時間】 1) 吐き気止めの点滴 【15分】 2) 500mlの点滴 【2時間】 3) 500mlの点滴 【2時間】
12:00	昼食、歯磨き
14:00	検温、血圧測定
	フタをして 水を2回流しましよう
	副作用と対策ついて説明します 便秘、下痢について 「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照
18:00	夕食、歯磨き 夕食後、 オレンジピン錠 を2錠服用します
19:00	検温 血圧測定
	眠気が強く出ることがあるので、薬を飲む前に トイレに行きましよう また、夜ふらつくときは看護師を呼びましよう
21:30	消灯



点滴漏れを予防するため針の刺し替えを行います
刺し替えの時間は、当日担当看護師からお知らせします
点滴の針を抜いている間にシャワー浴ができます
体調に合わせて体を拭きます

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- ・安全に抗がん剤治療を受けることができる
- ・副作用症状出現時の対処方法がわかる

<時間>	<予定>
6:00	起床 排尿を済ませてから 体重測定 を行いましょう (kg)
7:30	朝食、歯磨き 検温、血圧測定
10:00	検温、血圧測定 尿量の確認
	点滴があります ソルデム3A1L+5-FU (抗がん剤) 【24時間】
12:00	昼食、歯磨き
14:00	検温、血圧測定
	副作用と対策について説明します 倦怠感について 「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照
18:00	夕食、歯磨き 夕食後、 オランザピン錠 を2錠服用します
19:00	検温 血圧測定
21:30	消灯

しっかり水分を取りましょう
尿量が3000mlに足りない場合または、
1日目の体重より3kg増加している場合は
利尿剤の点滴をします

フタをして
水を2回流しましょう



眠気が強く出ることがあるので、薬を飲む前に
トイレに行きましょう
また、夜ふらつくときは看護師を呼びましょう

点滴漏れを予防するため針の刺し替えを行います (3日目に行っていない場合)
刺し替えの時間は、当日担当看護師からお知らせします
点滴の針を抜いている間にシャワー浴ができます
体調に合わせて体を拭きます

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時の対処方法がわかる

<時間>	<予定>
6:00	起床 排尿を済ませてから 体重測定 を行いましょう (kg)
7:30	朝食、歯磨き 検温、血圧測定
10:00	検温、血圧測定
	点滴があります ソルデム3A1L+5-FU (抗がん剤) 【24時間】
12:00	昼食、歯磨き
14:00	検温、血圧測定 体調に合わせて体を拭きます
	副作用と対策について説明します 骨髄毒性について 「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照
18:00	夕食、歯磨き
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯

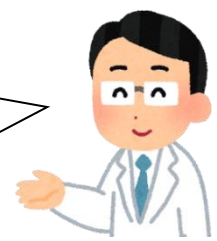
フタをして
水を2回流しましょう



- 針の入っているところが**赤くなった**、**腫れている**、**痛みがある**ときはすぐにお知らせください
- **吐き気**など、気分が悪いときは我慢をしないでお知らせください

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時の対処方法がわかる

<時間>	<予定>
6:00	起床
7:30	朝食、歯磨き 検温、血圧測定
10:00	検温、血圧測定 点滴が終了したら針を抜きます
12:00	昼食、歯磨き
14:00	検温、血圧測定 点滴終了後はシャワー浴ができます 体調に合わせて体を拭きます
	副作用と対策について説明します 口内炎について 「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照
18:00	夕食、歯磨き
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯



フタをして
水を2回流しましょう



- 針の入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときはすぐにお知らせください
- 吐き気など、気分が悪いときは我慢をしないでお知らせください

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- ・副作用症状出現時の対処方法がわかる

<時間>	<予定>
6:00	起床
7:30	朝食、歯磨き
10:00	検温、血圧測定
12:00	昼食、歯磨き
14:00	検温、血圧測定
	シャワー浴をしましょう
18:00	夕食、歯磨き
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯



フタをして
水を2回流しましょう



- ・針の入っていたところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときはすぐにお知らせください
- ・吐き気など、気分が悪いときは我慢をしないでお知らせください

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます





今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる

<時間>

<予定>

6:00 起床

7:30 朝食、歯磨き

感染予防のために手洗い・うがいは
しっかりしましょう

血液検査

血液検査の結果が良ければ、医師から退院許可が出ます

10:00 検温、血圧測定

フタをして
水を2回流しましょう



12:00 昼食、歯磨き

14:00 検温、血圧測定

シャワー浴をしましょう



18:00 夕食、歯磨き

19:00 検温、血圧測定

21:30 消灯

- ・針の入っていたところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときは
すぐにお知らせください
- ・吐き気など、気分が悪いときは我慢をしないでお知らせください

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます
- ・退院の準備をすすめられるよう支援します





今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる

<時間> <予定>

6:00 起床

7:30 朝食、歯磨き

10:00 検温、血圧測定

退院後の日常生活について説明します
入院予約票をお渡しします
2階入院受付で、次回の入院手続きをしておきましょう
「退院後の日常生活について」ページ参照



感染予防のために手洗い・うがいは
しっかりしましょう

12:00 昼食、歯磨き

14:00 検温、血圧測定

シャワー浴をしましょう

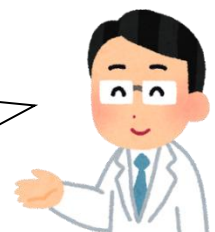


18:00 夕食、歯磨き

21:30 消灯

医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安がないように支援します





今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

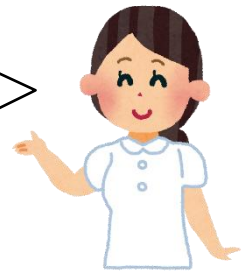
7:30

朝食、歯磨き

11:00

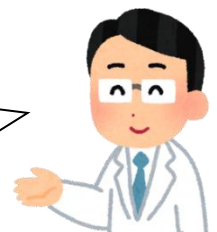
退院
退院前に忘れ物がないようにご確認ください
「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、
2階でお支払ください

治療後、時間が経って出現する副作用もあります
「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照
副作用症状について再度確認し、次の治療に向けて体調を
整えておきましょう



医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安がないように支援します



退院後の日常生活について

●食事

無理せず食べられるものを探し、食事はゆっくりと時間をかけたり、少量ずつ可能な範囲で食べるとよいでしょう

吐き気に対して薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください
食事ごとに吐いてしまうようなときは、1～2食、食事は控えてみましょう
この場合も水分はできるだけとりましょう

ご希望があれば退院後でも栄養相談を受けることができます
医療スタッフにご相談ください



●排泄

毎日排便があるようにしましょう
軽い運動や水分を多めにとりましょう

下痢のときは白湯やスポーツ飲料などをとりましょう
水分を控えると脱水症状を起こすことがあります

●活動

無理をしない程度で体を動かしましょう
活動の内容や範囲に制限はありません
白血球が下がっているときは、なるべく人混みは避けましょう
外出時は**マスクを着用**して、帰宅時に手洗い、うがいをしましょう

活動で迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください



●お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください
ほかの病院で処方されている薬がある場合は、退院までに医療スタッフにお知らせください
今後の服用について相談させていただきます



●発熱

37.5℃以上の熱がでた場合は、医師の指示どおりに抗生剤や解熱剤を服用しましょう
服用しても熱が続く場合は、がん相談支援センターにご相談ください

●仕事

重労働は、しばらく避けるようにしましょう

仕事を開始する時期や内容については、医師と相談しながら決めていきましょう

これから先、安心して働き続けるためには
体の状態に合わせた休み方や働き方が必要に
なることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」を
サポートしています

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



●その他

定期受診は必ず受けるようにしましょう

脱毛や色素沈着が治療後4週間以降に出現する場合があります

手袋やくつ下、帽子、バンダナなどは、肌に優しい天然素材（綿、絹など）を
使用するとよいでしょう

わからないこと、心配なことがあれば
遠慮なく看護師にお尋ねください





ウィッグ以外にも
お役立ち製品が色々♪



メイク ネイル用品

ウィッグ 帽子 ヘア用品 ネックカバーなど



治療によって脱毛・肌や爪のトラブルが起こる可能性がある方に、上記展示品の案内や試着を行っています

お住まいの自治体によっては、治療に伴うウィッグに関する助成制度を設けています
詳しくは、本館2階『がん相談支援センター』でご相談ください

※暖だんでの販売は行っておりません

気になる製品については購入方法をお伝えしています



- 下痢が4～5回/日以上続くとき
- 37.5℃以上の熱が続くとき
(手持ちの抗生剤と解熱剤がある方は、そのお薬を飲んででも続くとき)

上記のような症状がある場合やご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30～17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】 13:00～17:00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



5-FU+シスプラチン療法を受けられる方へ